

平成 31 年度

# 入学者選抜要項

宮崎公立大学

## 宮崎公立大学 建学の理念・目的

宮崎公立大学は、広く知識を授け、深く専門の学術を教授研究し、高い識見と国際的な視野を持つ人間性豊かな人材を育成するとともに、広く地域に開かれた大学として生涯学習の振興、産業経済の発展及び文化の向上に貢献することを目的とする。

～ 幅広い分野の学問に触れ、さまざまな想いを持つ人々と交わる。  
教養豊かな真の自由人を育てるMMU（宮崎公立大学）では、  
あなた次第で無限の可能性が広がる。  
さあ、未来へとつながるMy StudyをMMUで始めましょう。 ～

### [ 目 次 ]

I	学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針	1
1	学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	1
2	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	1
3	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
II	募集人員	4
III	選抜に係る期日	4
IV	一般入試	5
V	特別選抜等	7
●	推薦入試 I	7
●	推薦入試 II	8
●	帰国生入試	10
●	社会人入試	11
●	私費外国人留学生入試	12
●	編入学試験（一般編入学・私費外国人留学生編入学）	13
VI	身体に障がいがある入学志願者との事前相談	16
VII	学生募集要項の配布	16
VIII	インターネット出願について	18
IX	問い合わせ・事前相談・募集要項請求先	18

# I 学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針

## 1 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

宮崎公立大学は、建学の理念とリベラルアーツ教育に基づいて、人材育成目標である「教養あるグローバル人材」を育成します。「教養あるグローバル人材」育成のための教育課程を修め教育目標を達成した者に学士（人文学）の学位を授与します。

### 「人材育成目標」

国際的な視野、幅広い知識と確かな専門性、言語によるコミュニケーション能力を備えた上で、人間文化の現代的課題を探究でき、グローバル化する世界で多様な人々とともに主体的に活動できる人材を育成します。

### 「教育目標」

#### ・創造的な問題解決能力

創造的な問題解決能力とは、必要な情報を処理する技能を備え、根拠に基づいて論理的に考え表現することができ、そして問題を発見解決するための新しいアイデアや価値を生み出せる能力です。

#### ・コミュニケーション能力

コミュニケーション能力とは、日本語と英語を用いて、自由で対等なコミュニケーションを取ることによって他者と協力できる能力です。

#### ・異文化理解対応力

異文化理解対応力とは、グローバル化する世界の多文化状況を理解し、その中で主体的に判断し行動することができるようになることです。

## 2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

### 「教育内容」

- ・国際文化学科の教育課程は専門課程と教養課程によって構成されています。
- ・専門課程は、言語・文化専攻、メディア・コミュニケーション専攻、国際政治経済専攻の3専攻からなります。また、教養課程はグローバル人材養成プログラムと現代教養科目群からなります。
- ・言語・文化専攻では、哲学、歴史学、文学の研究に加え、英語を中心とした言語研究や文化の多様性とそれらの比較研究によって、グローバル化する人間文化の本質を理解します。
- ・メディア・コミュニケーション専攻では、社会学や情報リテラシーを学びながら、特にメディアとの関係で、人間の社会行動を研究します。メディアを通して、情報や知識が作られ、それらが社会に広がり、社会を変えていく過程についての研究を通して、グローバル化する人間文化を理解します。
- ・国際政治経済専攻では、人間文化に重大な影響を与えるグローバル化について国際政治学や国際経済学の観点から分析し理解するとともに、グローバル化に対する戦略や政策も研究します。さらに世界各地域の政治と経済に関する多様な専門知識も修得します。
- ・演習科目は、1年次から4年次まで一貫して演習が開講され、すべて必修です。演習科目は、1年次にアカデミックな読み書きのスキルを学ぶ基礎演習、2年次にグループワークで地域課題に取り組む基幹演習、3年次から4年次にわたる専門演習において専門の知識や方法を学び、学修の集大成としての卒業論文を必修としています。

- ・グローバル人材養成プログラムは、英語教育プログラム、東アジア言語教育プログラム、異文化実習プログラム、情報教育プログラムによって構成されています。
- ・英語教育プログラムでは、高度な四技能（聞く、話す、読む、書く）のコミュニケーション能力を修得します。
- ・東アジア言語教育プログラムでは、コミュニケーション能力、特に中国語または韓国語の「聞く」「話す」能力を修得します。
- ・異文化実習プログラムは、英語圏、中国、韓国での短期の語学学習と文化体験からなり、それによって異文化理解対応力を身に付けます。
- ・情報教育プログラムでは、大学生活において必要不可欠な基本的な情報スキルを習得します。
- ・現代教養科目群では、現代の社会生活をより豊かに過ごすための教養として、人文学、社会科学、自然科学、スポーツ健康、キャリア教育の5分野にわたる幅広い教養科目を開講しています。

#### 「教育方法」

- ・英語教育プログラムでは、能力別のクラス編成を行い、英語のコミュニケーション能力の向上をはかります。
- ・専門課程では、幅広い専門知識を身につけるために専攻横断的に各科目を履修します。
- ・専門課程の科目の段階的な学修のために専門基礎、基幹、展開という順に履修するとともに、各科目に番号を付された科目の順に履修します。
- ・1年次の基礎演習、2年次の基幹演習、3～4年次の専門演習という少人数の演習科目を履修します。

#### 「評価」

GPAにより厳格な成績評価を行います。

### 3 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

#### 「求める学生像」

- ・英語のコミュニケーション能力のさらなる向上とともに、異文化に対する理解力や対応力の習得に意欲を持つ人。
- ・地域社会のみならず、広く国際社会の課題の探究と解決に、主体的に取り組む姿勢を持つ人。
- ・幅広い教養を積極的に吸収するとともに、言語・文化、メディア・コミュニケーションや国際政治経済に関する専門分野をきわめたい人。

## 「入学者選抜について」

人文学部国際文化学科では、一般入試（前期日程、後期日程）、推薦入試（推薦入試Ⅰ、推薦入試Ⅱ）、帰国生入試、社会人入試、私費外国人留学生入試を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な学生を受け入れることを目指しています。

### ・一般入試（前期日程）

大学入試センター試験（3教科・3科目）により基礎学力を評価するとともに、個別学力検査（英語）で、高等学校等で得た知識・技能ならびに思考力・判断力・表現力等を評価します。

### ・一般入試（後期日程）

大学入試センター試験（3教科・3科目）により基礎学力を評価するとともに、個別学力検査（英文資料の読解を含む小論文）で、高等学校等で得た知識・技能ならびに思考力・判断力・表現力等を評価します。

### ・推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）

推薦入試Ⅰは大学入試センター試験を課さない宮崎県内枠の推薦入試です。

小論文、面接、出願書類（調査書・推薦書・自己推薦書）の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・学ぶ態度・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

### ・推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）

推薦入試Ⅱは大学入試センター試験を課す推薦入試です。個別学力試験はありません。なお、管内（宮崎市、国富町、綾町）枠出願と全国枠出願があります。

大学入試センター試験（3教科・3科目）により基礎学力を評価するとともに、出願書類（調査書・推薦書・自己推薦書）の内容によって、表現力・思考力・判断力・学ぶ態度・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

### ・帰国生入試

小論文、学力検査（英語）、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

### ・社会人入試

小論文、学力検査（英語）、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

### ・私費外国人留学生入試

日本語による小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、日本語能力・表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

### ・一般編入学試験（2年次・3年次）

小論文、学力試験（英語）、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって本学の2年次または3年次で求められる程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

### ・私費外国人留学生編入学試験（2年次・3年次）

日本語による小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、2年次または3年次からの履修に必要な日本語能力・表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

## Ⅱ 募集人員

学部・学科	入学定員	募 集 人 員						
		一般入試		特別選抜等				
		前期日程	後期日程	(推薦入試Ⅰを課さないセンター試験)	(推薦入試Ⅱを課す推薦入試)	帰国生入試	社会人入試	私費外国人留学生入試
人文学部 国際文化学科	200名	90名	40名	50名	管内枠 10名	全国枠 10名	若干名 (一般入試前期日程募集人員の内数)	

## Ⅲ 選抜に係る期日

### 1 一般入試

出願期間	選抜期日		合格発表
平成31年1月28日(月) ～2月6日(水)	前期日程	平成31年2月25日(月)	平成31年3月5日(火)
	後期日程	平成31年3月12日(火)	平成31年3月20日(水)

### 2 特別選抜等

項目	出願期間	選抜期日	合格発表
・推薦入試Ⅰ ・帰国生入試 ・社会人入試 ・私費外国人留学生入試 ・編入学試験	平成30年11月1日(木) ～11月6日(火)	平成30年11月24日(土) 11月25日(日)	平成30年12月5日(水)
・推薦入試Ⅱ (大学入試センター試験を課す)	平成31年1月21日(月) ～1月28日(月)	—	平成31年2月13日(水)

## IV 一般入試

### 1 出願資格

平成31年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成31年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (4) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で18歳に達した者および平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの者

#### 【注意】

(4)により出願を希望する者は、平成30年7月2日（月）から平成30年8月31日（金）までに入学資格認定のための申請書を提出する必要があります。ついては、早めに宮崎公立大学学務課まで問い合わせてください。

ただし、平成31年度大学入試センター試験を受験した者で、受験後に本学の入学資格の認定を受けようとする場合は、平成31年1月21日（月）から平成31年1月25日（金）までに入学資格認定のための申請書を提出してください。

### 2 選抜方法

大学入試センター試験（3教科・3科目）により基礎学力を評価するとともに、個別学力検査で、高等学校等で得た知識・技能ならびに思考力・判断力・表現力等を評価します。

#### 試験科目および試験時間

大学入試センター試験利用教科・科目		個別学力検査	
		学力検査教科・科目・範囲等	試験時間
前期 日程	〔3教科・3科目〕 (必須) 国語「国語」 外国語「英語」(※リスニングを含む) (選択) ①地理歴史 ・公民	外国語(英語) 〔コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ〕	120分
		〔「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」〕	
後期 日程	②数学 上記①②の12科目から1科目	小論文 〔英文資料の読解を含む〕	120分

### 3 選抜に係る期日

出願期間	選抜期日		合格発表
平成31年1月28日(月) ～2月6日(水)	前期日程	平成31年2月25日(月)	平成31年3月5日(火)
	後期日程	平成31年3月12日(火)	平成31年3月20日(水)

### 4 学力検査等の配点

#### ① 前期日程試験

区分	国語	英語	地理歴史 ・公民	数学	合計
大学入試センター試験	200	200	(200)	(200)	600
個別学力検査	—	200	—	—	200
合計	200	400	(200)	(200)	800

(注) 1 大学入試センター試験の英語は「筆記」(200点満点)と「リスニング」(50点満点)の合計得点を200点満点に換算して利用します。

(注) 2 大学入試センター試験で、地理歴史・公民および数学のうち複数教科を受験した場合は、その中の最高得点の1教科を採用します。

(注) 3 配点に( )の付してある教科は選択教科を表します。

#### ② 後期日程試験

区分	国語	英語	地理歴史 ・公民	数学	小論文	合計
大学入試センター試験	200	200	(200)	(200)	—	600
個別学力検査	—	—	—	—	200	200
合計	200	200	(200)	(200)	200	800

(注) 1 大学入試センター試験の英語は「筆記」(200点満点)と「リスニング」(50点満点)の合計得点を200点満点に換算して利用します。

(注) 2 大学入試センター試験で、地理歴史・公民および数学のうち複数教科を受験した場合は、その中の最高得点の1教科を採用します。

(注) 3 配点に( )の付してある教科は選択教科を表します。

### 5 その他

入学手続者が入学定員に満たない場合の欠員補充の方法は、追加合格によります。



## V 特別選抜等

### ● 推薦入試 I（大学入試センター試験を課さない推薦入試）

#### 1 出願資格

次の（１）から（５）のすべてに該当する者。

（１）次の①から③のいずれかに該当する者

①宮崎県内の高等学校もしくは中等教育学校を平成30年度卒業見込みの者または平成30年度内卒業者

②宮崎県内の学校において通常の課程による12年の学校教育を平成30年度修了見込みの者または平成30年度内修了者

③本人が平成30年4月1日以前から出願日まで引き続き宮崎県内に住所を有する者で高等学校の通信制課程（広域通信制課程を含む）を平成30年度卒業見込みの者または平成30年度内卒業者

（２）全体の評定平均値が4.0以上の者

（３）外国語（英語）の評定平均値が4.3以上の者または実用英語技能検定準2級以上取得の者

（４）志願する学科に対する能力・適性について出身学校長が責任をもって推薦できる者

（５）合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

※出願を希望する者を推薦しようとする高等学校等は、推薦できる人数について出願前に本学に必ず確認をしてください（出願希望者個人からの問い合わせはできません）。

**（注）大学入試センター試験の受験は必要ありません。**

#### 2 選抜方法

小論文、面接、出願書類（調査書・推薦書・自己推薦書）の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・学ぶ態度・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

#### 3 選抜に係る期日

出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
平成30年11月1日（木） ～11月6日（火）	平成30年11月24日（土） 11月25日（日）	平成30年12月5日（水）

## ● 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）

### 1 出願資格

#### （１）管内枠の出願資格

平成31年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目（9ページ）を受験した者で、次の①～⑦のいずれにも該当する者。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を平成30年度卒業見込みの者または平成30年度内卒業者、もしくは学校において通常の課程による12年の学校教育を平成30年度修了見込みの者または平成30年度内修了者
- ② 全体の評定平均値が4.0以上の者
- ③ 外国語（英語）の評定平均値が4.3以上の者または実用英語技能検定準2級以上取得の者
- ④ 志願する学科に対する能力・適性について出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ⑤ 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
- ⑥ 他の国公立大学の推薦入試に出願していない者  
※但し、本学の推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）に出願し不合格になった者は本学の推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）に出願することができます。
- ⑦ 本人または1親等の親族が平成30年4月1日以前から出願日まで引き続き宮崎市および国富町、綾町に住所を有する者

「全国枠」との併願はできません。但し、「管内枠」で出願した者は「全国枠」としての選抜の対象にもなります。

（注） 大学入試センター試験を課す推薦入試です。

#### （２）全国枠の出願資格

平成31年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目（9ページ）を受験した者で、前項「（１）管内枠の出願資格」の①～⑥のいずれにも該当する者

「管内枠」との併願はできません。「全国枠」で出願した者は、前項「（１）管内枠の出願資格」の⑦に該当する場合でも「管内枠」としての選抜の対象になりません。

（注） 大学入試センター試験を課す推薦入試です。

### 2 推薦者数

管内枠、全国枠ともに1つの学校から推薦できる人数に制限はありません。

### 3 選抜方法

大学入試センター試験（3教科・3科目）により基礎学力を評価するとともに、出願書類（調査書・推薦書・自己推薦書）の内容によって、表現力・思考力・判断力・学ぶ態度・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

個別学力検査は課しません。

#### （1）大学入試センター試験利用教科科目

平成31年度大学入試センター試験の次の教科・科目を受験すること。

教科	科目	科目の選択の方法
国語	「国語」	必須
外国語	「英語」 ※リスニングを含む	必須
地理歴史 ・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	左の12科目中1科目を選択
数学	「数学I」「数学I・数学A」	

#### （2）大学入試センター試験の配点

区分	国語	英語	地理歴史 ・公民	数学	合計
大学入試センター試験	200	200	(200)	(200)	600

(注) 1 大学入試センター試験の英語は「筆記」（200点満点）と「リスニング」（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用します。

(注) 2 大学入試センター試験で、地理歴史・公民および数学のうち、複数科目を受験した場合は、その中の最高得点の1科目を採用します。

(注) 3 配点に（ ）の付してある教科は、選択教科を表します。

#### （3）個別学力検査

本学の推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）では個別学力検査は実施しません。

### 4 選抜に係る期日

出願期間	合格発表
平成31年1月21日（月）～1月28日（月）	平成31年2月13日（水）

## ● 帰国生入試

### 1 出願資格

日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であり、外国において教育を受けた者で、次のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業した者および卒業見込みの者（修了および修了見込みの者を含む。）で、外国において最終学年を含め2年以上継続して学校教育（外国における日本の学校教育に相当する教育を除く。）を受けている者
- (2) 日本の高等学校もしくは中等教育学校を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業した者または卒業見込みの者のうち、中学校・高等学校もしくは中等教育学校を通じて3年以上外国の学校教育（外国における日本の学校教育に相当する教育を除く。）を受け、かつ日本の高等学校もしくは中等教育学校の後期課程の在学期間が2年未満の者
- (3) 外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）またはバカロレア資格（フランス共和国）を平成29年または平成30年に授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達する者

※ 出願資格について不明な点がある場合は、必ず出願期間前に余裕を持って宮崎公立大学学務課に相談してください。

(注) 大学入試センター試験の受験は必要ありません。

### 2 選抜方法

小論文、学力検査（英語）、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

### 3 選抜に係る期日

出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
平成30年11月1日（木） ～11月6日（火）	平成30年11月24日（土） 11月25日（日）	平成30年12月5日（水）

## ● 社会人入試

### 1 出願資格

平成31年4月1日現在で満23歳以上の社会人で、次のいずれかに該当し、かつ、合格した場合に入学することを確約できる者。ただし、出願時において学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する学校に在籍する者は出願できません。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む）

※ 出願資格について不明な点がある場合は、必ず出願期間前に余裕を持って宮崎公立大学学務課に相談してください。

(注) 大学入試センター試験の受験は必要ありません。

### 2 選抜方法

小論文、学力検査（英語）、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

(注) 学力検査（英語）については、辞書（電子辞書を除く）の持ち込みを認めます。

### 3 選抜に係る期日

出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
平成30年11月1日（木） ～11月6日（火）	平成30年11月24日（土） 11月25日（日）	平成30年12月5日（水）

## ● 私費外国人留学生入試

### 1 出願資格

外国籍を有し、平成29年度もしくは平成30年度日本留学試験（日本語・総合科目・数学〈コース1、2いずれでも可〉、出題言語は日本語とする）を受験した者で、次のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および平成31年3月修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (2) 外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）またはバカロレア資格（フランス共和国）を授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達する者

(注) 大学入試センター試験の受験は必要ありません。

### 2 選抜方法

平成29年度もしくは平成30年度日本留学試験の成績、日本語による小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、日本語能力・表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

また、**日本語能力試験の成績を合否判定の参考資料として利用します。**

※日本語能力試験は、平成29年度もしくは平成30年度に受験した日本語能力試験で最も高いレベルの試験の合否結果通知書《原本》を提出してください。

### 3 選抜に係る期日

出願期間	選抜期日	合格発表
平成30年11月1日（木） ～11月6日（火）	平成30年11月24日（土） 11月25日（日）	平成30年12月5日（水）

## ● 編入学試験（一般編入学・私費外国人留学生編入学）

### 1 出願資格

#### ■一般編入学（2年次）

次の(1)から(5)のいずれかに該当する者で、(6)の要件を満たす者。

- (1) 大学、短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者または平成31年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構で学士の学位を取得している者または平成31年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者または平成31年3月修了見込みの者（学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- (4) 大学において1年以上（休学期間を除く）在学し、32単位以上を修得した者または平成31年3月31日までに同要件を満たす者
- (5) 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者または平成31年3月修了見込みの者
- (6) 次の検定試験のいずれかの基準を満たし、出願に際し証明書を提出できる者。ただし、出願日から2年以内に取得したものに限る。

TOEIC	TOEFL (PBT)	TOEFL (IBT)	IELTS	英検
500点以上	530点以上	60点以上	4.5以上	2級以上

※TOEIC-IPとTOEFL-IPTの成績は採用しません。

#### ■一般編入学（3年次）

次の(1)から(5)のいずれかに該当する者で、(6)の要件を満たす者。

- (1) 大学、短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者または平成31年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構で学士の学位を取得している者または平成31年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者または平成31年3月修了見込みの者（学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- (4) 大学において2年以上（休学期間を除く）在学し、62単位以上を修得した者または平成31年3月31日までに同要件を満たす者
- (5) 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者または平成31年3月修了見込みの者
- (6) 次の検定試験のいずれかの基準を満たし、出願に際し証明書を提出できる者。ただし、出願日から2年以内に取得したものに限る。

TOEIC	TOEFL (PBT)	TOEFL (IBT)	IELTS	英検
550点以上	550点以上	65点以上	5.0以上	準1級以上

※TOEIC-IPとTOEFL-IPTの成績は採用しません。

### ■私費外国人留学生編入学（2年次）

日本国籍を有さず、かつ日本国の永住許可または特別永住許可を得ていない者で、次のいずれにも該当する者。

- (1) 外国の大学、短期大学相当の学校教育（14年以上）を卒業もしくは平成31年3月31日までに卒業見込みの者、または外国の大学等を1年次修了または修了見込みの者
- (2) 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する「日本語能力試験」でN1又はN2の認定を得ている者、または独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」科目の読解、聴解・聴読解の合計得点が240点以上の者

### ■私費外国人留学生編入学（3年次）

日本国籍を有さず、かつ日本国の永住許可または特別永住許可を得ていない者で、次のいずれにも該当する者。

- (1) 外国の大学、短期大学相当の学校教育（14年以上）を卒業もしくは平成31年3月31日までに卒業見込みの者、または外国の大学等を2年次修了または修了見込みの者
- (2) 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する「日本語能力試験」でN1又はN2の認定を得ている者、または独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」科目の読解、聴解・聴読解の合計得点が240点以上の者

## 2 選抜方法

### ■一般編入学

小論文、学力試験（英語）、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって本学の2年次または3年次で求められる程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

### ■私費外国人留学生編入学

日本語による小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、2年次または3年次からの履修に必要な日本語能力・表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。



### 3 選抜に係る期日（一般編入学・私費外国人留学生編入学 共通）

出願期間	選抜期日	合格発表
平成30年11月1日（木） ～11月6日（火）	平成30年11月24日（土） 11月25日（日）	平成30年12月5日（水）

### 4 重要：編入学後の履修等について

2年次編入学	<p>① 2年次編入学者の修業年限は3年とし、在学期間は修業年限の2倍を超えることはできません。</p> <p>② 本学に入学する前に在学した他大学等で修得した単位については、本学の定める基準に基づき認定を行います。<u>認定された単位の状況によっては、3年間で卒業できない場合があります。</u></p> <p>③ 教育職員免許状取得に関する科目を個別認定申請する場合は、教育職員免許法の規定により単位認定上の制限を受ける科目があります。</p>
3年次編入学	<p>① 3年次編入学者の修業年限は2年とし、在学期間は修業年限の2倍を超えることはできません。</p> <p>② 本学に入学する前に在学した他大学等で修得した単位については、本学の定める基準に基づき認定を行います。<u>認定された単位の状況によっては、2年間で卒業できない場合があります。</u></p> <p>③ 教育職員免許状取得に関する科目を個別認定申請する場合は、教育職員免許法の規定により単位認定上の制限を受ける科目があります。</p>

## VI 身体に障がいがある入学志願者との事前相談

身体に障がいがある入学志願者は、受験上および修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、本学に出願する以前に宮崎公立大学学務課まで連絡し、事前相談をしてください。

## VII 学生募集要項の配布

本学の入学者選抜については、その詳細を学生募集要項で必ず確認してください。

### 1 配布開始時期

選 抜 区 分	配布開始時期
一般入試・推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）	10月下旬 ※
推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）	9月下旬 ※
帰国生・社会人・私費外国人留学生・編入学	9月下旬

※推薦入試Ⅰ・Ⅱの学生募集要項は学校に送付します。希望される学校は本学までご連絡ください。なお、個人請求には応じられませんので必要とする受験者等は学校に相談してください。

※資料完成日までの請求は、予約受付となります。


### 2 請求方法

請求方法は次のとおり複数ありますので希望する方法で入手してください。ただし、帰国生・社会人・私費外国人留学生・編入学の学生募集要項の請求は、(3)及び(4)のみの取扱いになります。

#### (1) テレメールで請求する場合

##### ①インターネット、または自動音声応答電話からの請求

STEP1 インターネット（PC・スマートフォン・携帯電話）または自動音声応答電話をご利用ください。

インターネット（PC・スマートフォン・携帯電話）の場合		自動音声応答電話の場合	
 テレメール	【URL】 <a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a> PC・スマートフォン・携帯電話とも共通アドレスです。	I P 電 話	050-8601-0101 (24時間受付)
	二次元コード ※ 対応するスマートフォン・ 携帯電話で読み取れます。 		

STEP2 資料請求番号（6桁）を入力またはプッシュしてください。

資料名	資料請求番号
一般入試募集要項	5 8 8 0 5 2
一般入試募集要項＋大学案内	5 4 8 1 5 2
大学案内	5 6 8 0 6 2

STEP3 あとはガイダンスに従って登録してください。

\*受付から1、2日で資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては3日以上かかる場合もあります。なお、発送開始日までの請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送いたします。

- \* 料金のお支払い方法は「コンビニ支払い」「ゆうちょ銀行・郵便局での払込み」「ケータイ払い」「クレジットカード払い」がご利用になれます。また、ケータイ払い、クレジットカード払い、コンビニ支払いは、1回分の手数料で、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。
- \* 自動音声対応電話によるご請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりはっきりとお話してください。


■ 上記(1)についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター

TEL 050-8601-0102 (9:30~18:00)

(2) モバっちょでの請求



PC、スマートフォン、携帯電話共通	
【URL】 <a href="http://djc-mb.jp/miyazaki-mu3/">http://djc-mb.jp/miyazaki-mu3/</a>	
	* スマートフォン、携帯電話の場合は、左の2次元コードからもアクセスできます。

■ 上記(2)についてのお問い合わせ先

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター

TEL 050-3540-5005 (平日 10:00~18:00)

(3) 大学窓口で直接受領する場合

月曜日から金曜日（ただし、祝日を除く）の8時30分から17時15分までの間に宮崎公立大学学務課において受領してください。

(4) 大学へ直接郵送請求する場合

封筒の表に「〇〇入試学生募集要項請求」と朱書きし、**角型2号**の返信用封筒を同封して「**Ⅹ 募集要項請求先**」にお申し込みください。

(注) 1 封筒の表の〇〇には、次の選抜の種類の内いずれかを書きます。

「一般」「帰国生」「社会人」「私費外国人留学生」「〇〇編入学」

(注) 2 返信用封筒には返送先の住所・氏名を明記し、通常郵便での返送であれば250円分の切手を、また、速達郵便での返送希望の場合は530円分の切手を貼付してください。

(注) 3 2部以上の募集要項を請求される場合は、郵便料金が上記と異なりますので、宮崎公立大学学務課まで問い合わせてください。

## VIII インターネット出願について

宮崎公立大学では**一般入試（前期日程・後期日程）**に限り、インターネットを利用した出願が可能です。

インターネット出願では、紙の願書請求が不要となり、検定料の支払いにコンビニエンスストアやクレジットカードが利用できます。

ただし、調査書や写真等、出願期間中に郵送が必要な書類がありますので、出願前に必ず揃えておいてください。（詳しくは「学生募集要項」等で必ず確認してください。）

- インターネット出願のできる入試：一般入試（前期日程・後期日程）に限る。  
（注意：推薦入試Ⅰ・Ⅱ、特別選抜、編入学試験は対象外）
- 出願期間：平成31年1月28日（月）～2月6日（水）
- 注意事項
  - ・インターネット出願をしようとする者は、出願期間前に「学生募集要項」および本学ホームページに掲載予定のインターネット出願に関する情報（本学ホームページに10月下旬頃の掲載予定）をよく読んで、入学検定料の入金の方法、郵送すべき書類、郵送用封筒、そのほか出願に際し必要な事項を必ず確認してください。
  - ・従来どおりの紙による出願もできます。

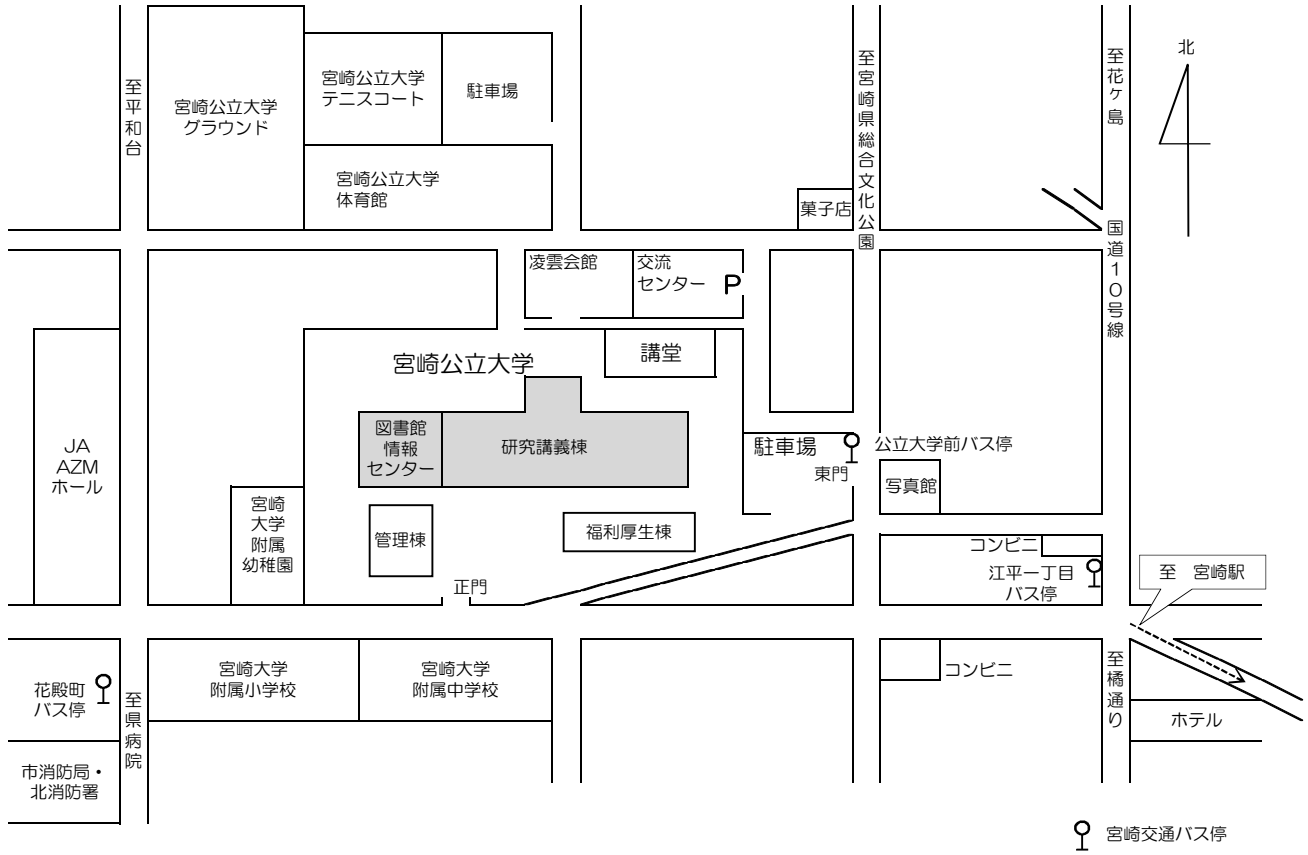
## IX 問い合わせ・事前相談・募集要項請求先

宮崎公立大学学務課 宮崎市船塚1丁目1番地2 〒880-8520

電話 0985(20)2212

ホームページアドレス <http://www.miyazaki-mu.ac.jp/>

# 宮崎公立大学周辺図

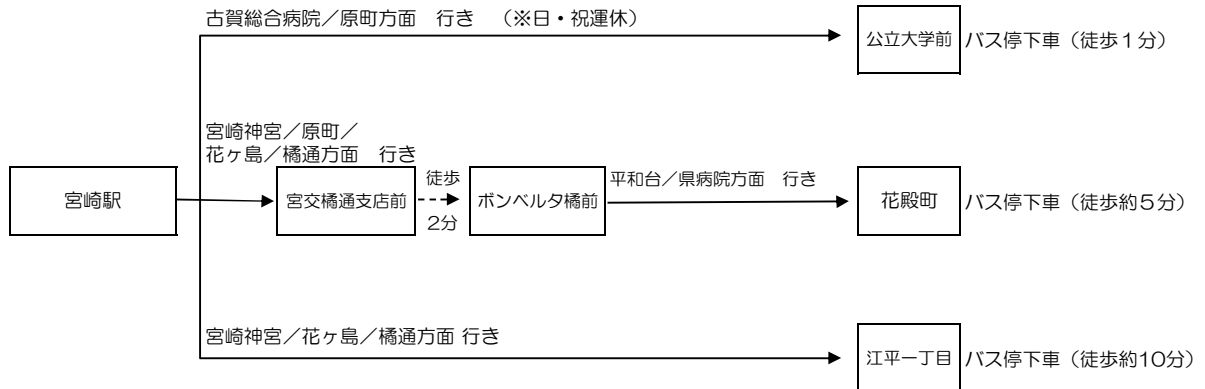


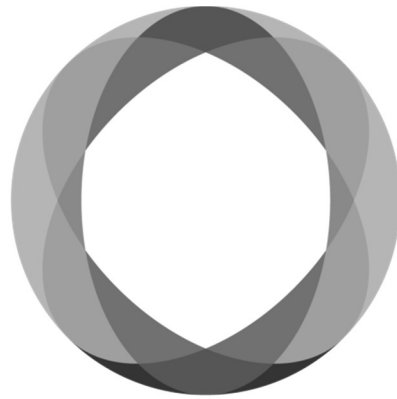
住所：宮崎市船塚1丁目1番地2  
 電話：0985(20)2212 (学務課)

## [交通案内]

- 徒歩 JR宮崎駅から約25分
- 乗用車 JR宮崎駅から約5分
- バス

## 宮崎交通バス利用例





やわらかな知性を身につける。

# 宮崎公立大学

MMU LIBERAL ARTS

〒880-8520

宮崎市船塚1丁目1番地2

TEL 0985-20-2212(学務課)

■ホームページアドレス

<http://www.miyazaki-mu.ac.jp/>

■スマートフォンサイト

上記URLの最後にsp/を追加、または、  
右記の2次元コードからアクセス! ☞



■宮崎公立大学 携帯電話サイト

《(株)大学情報センター運営サイト》

<http://daigakujc.jp/miyazaki-mu/>

